

覚悟

R5.9.29 発行
校長：種吉 信二

学校評価アンケートの結果について

7月に学校評価アンケートを実施し、その結果を職員で共有し、改善策を協議しました。結果及び分析改善策は本校のホームページで確認ください。

アンケートには「学校がさらに良くなるために、今後力を入れてほしいこと、また、ご意見、ご要望」も記入していただきました。以下に主なご意見とそのことに対する本校の考えをまとめましたのでご覧ください。

意見①：宿題や定期テスト（期末テスト）がないと勉強をしないので学力が低下するのではないか。

回答①：期末テストはテスト範囲が広く、記憶・再生に苦手意識を抱える生徒にとって困難に感じるが多かったため、昨年度から単元末テストに変えています。単元末テストは単元が終了するごとに各教科で実施するので、日々の学習の成果が表れやすく、自己肯定感の高まりにつながります。また、計画的な学びが苦手な生徒のためにスケジュール帳を提供し、活用を促しています。なお、単元末テストの成績に納得がいけない生徒は再チャレンジに挑戦し、知識の定着を図っている教科もあります。もし、どんな家庭学習をすればいいかわからない生徒は教科担任に相談してください。必ず、いいアドバイスをもらえると思います。実力テストは年3～4回実施し、広い試験範囲の復習（高校入試）へも対応できるようにしています。

意見②：家庭学習の習慣を身に付け、基礎基本の確実な習得を図るために宿題を学年などの発達段階に応じて出してほしい。

回答②：お子様に必要に応じて主体的に学びを深めてほしいというのは、保護者も教職員も共通の願いではないでしょうか。これまで宿題さえしていれば勉強した気になっていた生徒にとっては自分で考えて家庭学習を行うのは難しいのかもしれませんが、今は一律の宿題は出していませんが、そんな生徒のために家庭学習のヒントとなる課題については、各教科で学年に応じて工夫して出しています。特に、漢字の書き取りや数学の計算練習などは繰り返し練習しなければ身につかないところがありますが「2ページ書いてきなさい」「3回ずつ解いてきなさい」といった指示ではなく、この単元（題材）

で学習していることに関する問題をA Iドリルやプリントなどで示し、理解が十分でない問題を復習するよう助言しています。

意見③：持ち帰ったクロムブックで勉強をするふりをして遊びに使う。寝る間際まで動画を見て遊んでいて困る。

回答③：長崎市から貸与されているクロムブックは、23:00～5:00の間はインターネットに17:00～8:00の間はYouTubeに接続できない設定となっています。また、学校では「学習にしか使用しない」「就寝の1時間前までに使用をやめる」よう指導しています。なお、長崎市内の生徒は「キュビナ」というA Iドリルが使用できるようになっています。A Iドリルは学習者の解答に合わせて問題を変えて出題するため個別最適な学びにも力を発揮するといわれています。長時間連続の使用とならないよう適度に目を休めながら使うよう学校でも指導していますので不適切な使い方をしていけば家庭においてもお声掛けをお願いします。

意見④：学級のことや子供のことを誰に相談していいかわからない。学級担任をお願いしてほしい。

回答④：過去には学級担任との関係に悩んで学校に足が遠のいたり、心を開いて相談ができなかったりするケースがありました。学級担任との関係性を回復できず担任の変更を求めるケースもありました。学級を一人の教員で見るとも複数の目で見ただけで、生徒の変化に気づきやすく、不安や心配事の早期発見、解決につながりやすくなります。誰に相談すればいいかわからないときは、お子様が一番話しやすい先生にまずはご相談くださるようお願いいたします。なお、相談内容については、秘密を守るとともに、管理職と学年職員で確実に情報を共有し、場合によっては全職員で共有して解決に向けて対応するようにしています。

意見⑤：エアコンが効きすぎて寒さを訴える生徒が多いと聞いている。

回答⑤：感染症予防と熱中症予防を両立するために、エアコンを使用する場合は、教室の窓は締め切らずに常時換気をしながら、設定温度を低めにしています。エアコンからの方向や距離で感じ方も変わるようなので、寒くなりすぎないように気を付けるとともに、それでも寒いと感じる場合は、ジャージの着用を促しているところです。